

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	さわらびセンター	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢 課
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日	評価者(課長)	土田 孝

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	定員35人／日、311日開所、延べ利用人数 6,767人(前年比2,199人増)
サービス向上の取組	①時間延長及び希望する送迎時間に対応する。②タオル類の貸し出しを行い利用者の準備負担を軽減する。③趣向を凝らし充実した昼食・おやつの提供。④転倒予防体操や嚥下体操、口腔ケア、リハビリを用いた機能訓練の充実。⑤研修に参加したり、研修を行って技術や知識の向上に努める。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (R4年度)	前年度 (R5年度)	当該年度 (R6年度)	合計	備考
収入	指定管理料	0	101	8	109	基本協定額: 109 千円
	利用料金	3,162	2,920	4,348	10,430	利用者食費
	事業収入	39,554	36,109	54,959	130,622	介護報酬等
	自主事業収入				0	
	その他				0	
	収入合計 ①	42,716	39,130	59,315	141,161	
支出	人件費	47,783	46,121	52,207	146,111	職員・臨時職員給料等
	福利厚生費	131	117	206	454	健康管理費等
	事務費	220	177	290	687	事務諸経費
	管理費	7,021	7,225	8,604	22,850	
	水道光熱費	4,046	3,682	4,271	11,999	電気料、上下水道料等
	修繕料	228	296	142	666	施設修繕
	使用料・リース料	1,244	1,641	2,636	5,521	機器リース料等
	手数料・保険料	580	520	593	1,693	賠償責任保険料等
	委託料	923	1,086	962	2,971	施設警備、清掃委託等
	事業費	3,910	3,865	5,138	12,913	介護消耗品等事業運営経費
	自主事業経費				0	
	その他	2,634	3,163	2,374	8,171	リース債務返済
	支出合計 ②	61,699	60,668	68,819	191,186	
収支差額(①-②)		▲ 18,983	▲ 21,538	▲ 9,504	▲ 50,025	

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考(所管評価) (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1)	指定管理業務実施上の課題
	・R6年度中、デイサービス長津と合併し定員を35名に増員した。合併当初は利用者増となったが、その後新規利用者の希望が少なく利用者減少傾向にある。 ・職員不足、高齢化が進んでいる。特に看護師、調理師の代替えに苦慮している。 ・施設設備の老朽化で修繕ヶ所が増えてきている。
(2)	課題解決に向けた取組
	ケアマネ訪問や、お便りで空き情報や施設の様子を伝えてアピールを行った。 選ばれる施設を目指し、利用者と家族の希望に沿った、細やかで親切なサービスを行った。 お休み時は、代替日の提案を確実に行った。 経営状況、収支状況の把握を行った。 他の社協施設と連携し、兼務の職員を増やし過剰人員にならないよう人員配置を行った。 全てのことにおいて、節約を行っている。
(3)	その他
	①利用者からの主な意見や苦情、対応策 苦情までにはならない意見は、相談記録に記載し検討会議を行っている。 意見には速やかに対応し、善処した。 アンケートで利用回数を増やしたいといった要望を頂いた。ケアマネージャーに連絡し利用回数増に繋げた。
	②その他

4 全体的な評価

(1)	指定管理者の評価
	リハビリ目的の利用者が増えていることから午前中、機能訓練指導員を配置。リハプランシステムを導入し計画、実施、評価を管理しながら行っている。 昼食は趣向を凝らし、季節や行事、全国のご当地メニューや国際色豊かなメニューなどを提供できた。どれも手作りで、利用者の好みに合わせたものでした。おやつも季節感があり、見た目も華やかな手作りのものや、村上市内の銘菓を提供したりと工夫しました。昼食、おやつ共に、利用者に大好評でした。 利用者数は伸びない状況でしたが、利用者の福祉の向上と、家族の介護負担軽減を心がけ、利用者と家族に寄り添ったサービスが行えました。
(2)	施設所管課の評価
	・機能訓練指導員を配置したり、システムを導入して効率化を図るなどリハビリ需要に対応している。 ・長津との統合後も、工夫を凝らした昼食や手作りおやつなどを提供し、利用者から好評を得ている。 ・ケアマネや利用者・家族との信頼関係の構築に配慮し、利用増に努めている。 ・節電など経費節減を図っている。
(3)	次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)
	・今後も、利用者や家族の意向に耳を傾けていただき、寄り添った対応をお願いしたい。 ・引き続きケアマネとの関係性を重視し、利用増加に努めていただきたい。